

特集「しれとこ森づくりの道」 ～運動地公開コースがオープンします～

2013 年度の活動報告

エゾシカと森づくり～進む捕獲事業とその効果～

今年も「しれとこの森通信」をお届けします。
運動地の森づくりは、知床連山から吹きおろす風、オホーツク海から吹き上げる風、増えすぎたエゾシカなど、人の想像を超える複雑で厳しい自然との戦いです。夢を語るだけでは森は育ちません。私たちはこの壁を乗り越えられると信じ、これからもたくさんの人と手を結びながら、数百年先の未来の森の再生に向けた挑戦を続けていきます。

今年、知床は国立公園に指定されて 50 年の節目を迎えました。

引き続き、知床、そして運動へのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

朝焼けに染まるオホーツク海と空

斜里町長 馬場 隆



特集

「しれとこ森づくりの道」 ～運動地公開コースがオープンします～

100平方メートル運動では、かつてここにあった自然の再生を進めるとともに、その様子を多くの人に伝えていくことにも取り組んできました。

そして、この夏、運動と森づくりを伝えるための取り組みが次の一歩を踏み出します。これまで、運動地を歩く機会は、森づくりのイベントや冬のスノーシューコースなど、限定的でしたが、これからは、より手軽にどなたでも運動地を歩くことができます。

それが、知床自然センターのすぐとなりにオープンする公開コース「しれとこ森づくりの道」です。ぜひこの道を歩いて、運動の取り組みを見てみませんか！

これまでの経緯

2010年11月、100平方メートル運動の保全（買い取り）対象地として最後まで残されていた11・92ヘクタールの開拓跡地を取得しました（注）。

この運動地は、多くのビジターが訪れる知床自然センターや「しれとこ100平方メートル運動ハウス」に隣接していることから、森づくりの場としてだけでなく、広く運動の取り組みを伝える場所として活用していく方針で準備を進めてきました。

それが、今回お伝えする運動地公開コース「しれとこ森づくりの道」です。

運動と森づくりを

伝えるために

この夏オープンする公開コースは、ホロベツルート。知床国立公園のウトロ側の玄関口に位置し、ルートは約1キロで時間にして1時間程度の道のりです。

ルートの起点は「100平方メートル運動ハウス」。ここには、これまで運動に寄付を寄せていただいた約6万5千人の方々のお名前を掲示している他、運動の歩みなどを解説したパネルを展示しています。

運動ハウス横からスタートする歩道を歩き出すと、すぐに開拓の歴史を物語る切り株や当時の生活用品が森の中に見えてきます。大自然というイメージが強い知床ですが、かつてここにも人の生活があったことをうかがい知ることができます。

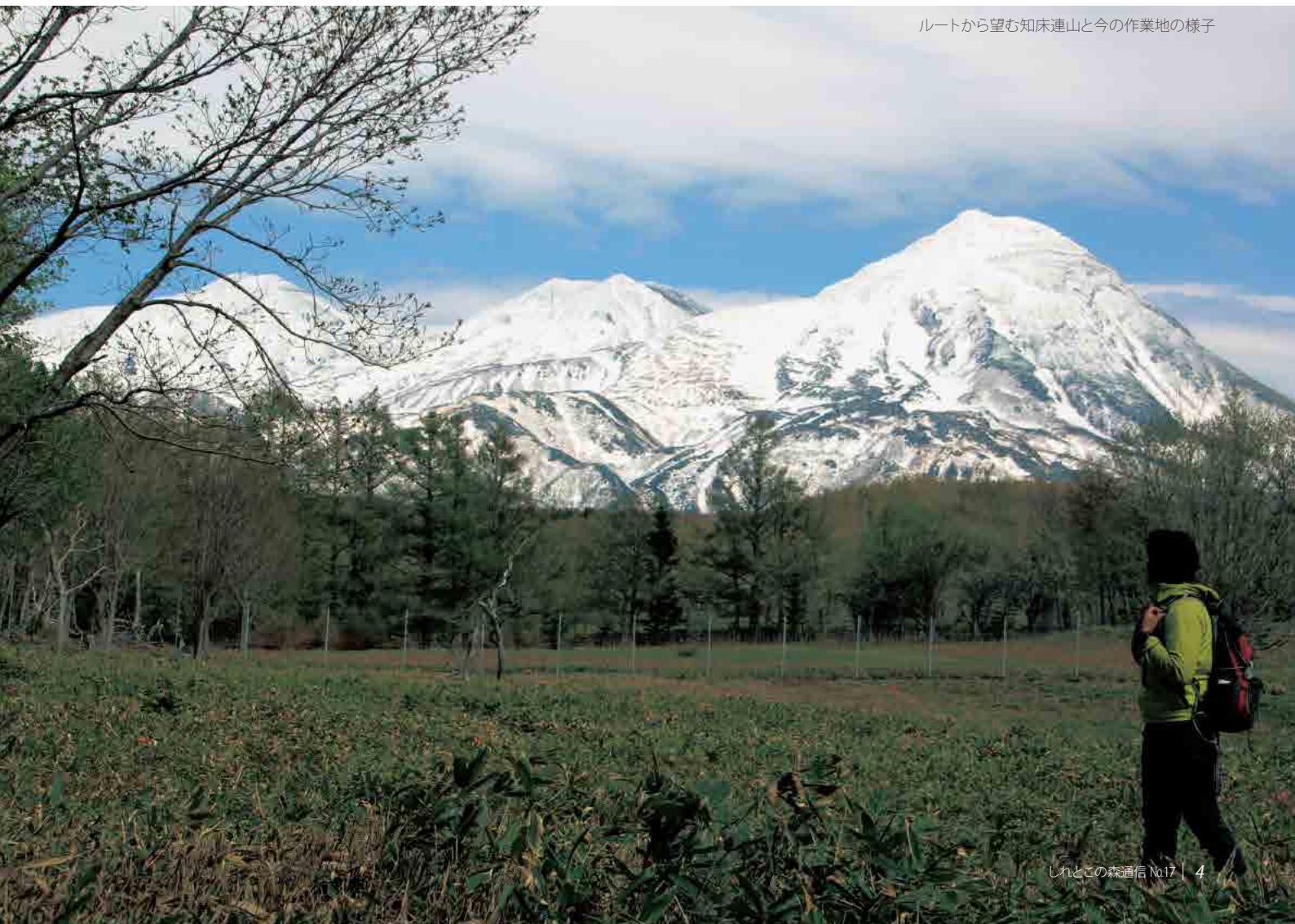
さらに進むと、シカから木を守る「防鹿柵（シカ柵）」や苗木を育てている「苗畑」など、実際に森づくりを進めている作業地に到着します。時には、私たちスタッフが作業している姿もご覧いただけるかもしれません。そんな時はぜひ声を掛けてみてください。

ルートは、広い運動地の中のごく一部に過ぎませんが、実際に歩き、直に見ることで、森の再生のためにどんなことをしているのかをより深くご理解いただけるのではないかと思います。

「しれとこ森づくりの道」という名称は、知床の自然を散策するだけではなく、この道を通して、過去から未来へと続く知床と運動の歩みをお伝えしていきたい、そんな意味を込めてこの名を付けました。

注…1977年の運動開始から33年間という歳月を経て、すべての保全対象地471ヘクタールの取得を完了しました。

ルートから望む知床連山と今の作業地の様子





運動地の公開に向けて

現在、夏のオープンに向けた最後の準備を進めています。とはいえ、ここは森づくりを行っている運動地です。森の変化に合わせて伝える方法や場所は常に進化していかなければなりません。これから時間をかけて、知床の運動と森づくりをお伝えするために必要な仕掛けづくりや新たなルートの設定など、運動地の公開を進めていきたいと思います。

この「森づくりの道」の一角からは、知床の山々を一目で見渡せる場所があります。今は見晴らしが良い場所ですが、ここで育む木々が順調にその背を伸ばし、いつか山々が見えなくなる日がくることを目指して森づくりを進めていきます。

そんな変わりゆく道からの光景もこの森通信やホームページを通じて皆様にお届けできればと思っています。そして、知床にいらっしゃる機会があれば、ぜひ「森づくりの道」を歩いてみてください。



森づくりのナビゲーター
ヘーベえ君

森づくりの道 ホロベツルート イメージマップ



2014年
7月上旬
OPEN!

活動報告

2013年度の活動報告

「森づくりの様子をご報告します」

2013年度は、幌別台地の西側に位置する第1区

画を中心に作業を進めました。

苗畑での除草や苗木の根づくりを行い、秋には育てたイタヤカエデなどの苗木約200本を防鹿柵の中に植え込みました。また、苗畑で育成した樹高5〜10メートルにもなる大きな広葉

樹苗をアカエゾマツ植林地の穴地（注）に移植する作業も引き続き行っています。このほかにも、エゾシカから木々を守る防鹿柵を岩尾別川沿い（第3区画）に1基設置するなど、1年を通じて様々な取り組みを展開しました。

本格的な森づくりの開始から



大型苗の移植作業

16年、当初は、森の番人を含めた2名体制でスタートしたスタッフも、今では4名となり、日々の作業やイベントの運営などを進められるようになっていきます。これも、運動参加者の皆様のご支援があればこそできることです。知床に夢を託していただいた多くのの方々の思いを感じながら、日々の仕事に取り組みんでいます。

注：アカエゾマツなどの針葉樹植林地の一部を切り開いて作ったスペース。ギャップともいう。



5つの区画を5年で一巡する回帰作業は、現在4巡目を迎えています。

森でのひとコマ



作業中にみかける動物たち

森づくりの作業中、野生動物の姿を見かけることは特に珍しいことではありません。この日は柵を立てるために丸太を運んでいたところ、1頭のクマが通りかかりました。知床の自然の中で進める森づくり。常に野生に生きる動物たちの気配を感じながら作業を行っています。



森づくり「防鹿柵の設置作業」

今回の設置場所は、岩の多い河原のため、穴を掘って柱を立てることはできません。そこで、三角形に組んだ丸太を連結して自立させていく工法を用いて柵を立てていきました。ちなみにこの工法は、森の番人の発案によるものです。知床の森づくりには、番人の知恵が詰まっています。



エゾシカと森づくり 進む捕獲事業とその効果

この1年ほどの間、運動地でシカを見ることが少なくなりました。以前はあちこちで見かけ、風景の一部となっていたシカも、最近では、「あつ、いた」と思わず注目してしまうこともあるほどです。

これまでも本誌でお伝えしてきたとおり、知床の森づくりはエゾシカとの戦いといっても過言ではありません。その中で、2011年より運動地とその周辺でも実際にシカを捕獲してその数をコントロールしようという試み(環境省事業)

が行われています。そして、この3年間で大きなワナを使った生け捕りや銃による捕獲などいくつかの手法を用いて1,056頭のシカが捕獲されています。

このシカの捕獲は、知床本来の植生の回復を目的としたものです。現場の印象としては、以前はあまり目にすることがなかった小さな木々や草花がその背を伸ばす姿が目立つようになったと感じています。

シカの捕獲開始からわずか数年間で、運動地の植物は変化の兆しを見せています。この変化が一時的なものなのか、それとも持続的なものなのかを今後も注意深く見極めていく必要があります。



岩陰から枝を伸ばすハルニレの幼樹



しれとこの森交流事業

「第17回しれとこ森の集い」

10月、85名の皆さんにお集まりいただき、カシワやハルニレなど約200本の植樹を行いました。秋晴れの空の下、大人も子どももスコップを片手に思い思いの場所に苗木を植えていきました。こうやって知床の大地に植えられた木々は、未来の森の礎になっていきます。このほか、8月には「第34回知床自然教室」(参加者29名)、11月には「第17回森づくりワークショップ」(参加者15名)を開催しました。

運動地公開

「スノーシュー・歩くスキーコース」

1~3月、冬期の運動地公開として、知床自然センター周辺に散策コースを設置しています。3月には、元クロスカントリースキー選手の夏見円さんをお招きし、冬の運動地を歩くイベントを開催しました。参加者の皆さんは、夏見さんのスキーの技術と笑顔に見とれつつ、残された開拓家屋や森づくりの現場をスキーで巡り、冬の知床の森で1日を過ごしました。





カツラの苗木の除草をする新崎さん

新崎典生さん

(大阪府在住)

100平方メートル運動を支えていただいている皆さんの声をお届けするこのコーナー。今回は、ボランティアとして森づくりにかかわる新崎典生さんにお話を伺いました。新崎さんは、ダイキン工業の有志社員による「知床ボランティア」への参加をきっかけに、その後も個人的に何度も知床に足を運んでいただき、森づくりのお手伝いをいただいています。

最初に「知床ボランティア」に参加しようと思ったきっかけは何でしたか？

半分は勢いでしたが、やはり「知床」と言う響きでしょうか。一般的には「地の涯」とか「厳しい環境」というイメージもある一方、世界遺産として有名な地でもある。そんなところで森づくりができる事に魅力を感じました。

実際に参加してみてどうでしたか？

まずは、「いったい何をするのだろう？」と興味津々でした。最初の作業は、移植ゴテを片手に小さなカツラの苗木の採取。数センチの苗木は意外に見つけにくく、みなで地面に這いつくばって探し回りました。次第に慣れると楽しくなり、疲れも忘れてた皆さんの苗木を掘り取りました。それから、採取した苗木数百本を苗畑に植え込んで、さらに愛着が生まれました。

最初の知床ボランティア後のご家族や同僚の反応は？

家族は「北海道に行けていいよなあ〜」でした。遊びに行っている訳ではないのですが…。同僚からは「わざわざ北海道まで行つてすごいなあ〜」「お前らしいわ!」と言われました。

その後、何度も知床に行つてみようと思った理由は何ですか？

自分の植えたカツラの苗木が今後どのように成長していくのか見届けたいという思いです。それから、「多岐に渡る森づくりの仕事をもちとやってみたい」「何度行つても飽きが来ない」「知床の春夏秋冬を満喫したい」など、ミ〜ハーなところも多少ありますが、とにかく自分の活動の成果を残していきたいと思っています。

ご本人も何度も来ていただいています。娘さんお二人も夏の知床ですが、娘さんお二人も夏の知床

自然教室に参加しています。お子さんを自然教室に参加させようと思った理由はなんですか？

何度か知床に通っているうちに、ここなら自然を体感し、自然と共に暮らすことの大切さを感じてもらえると思ったからです。また、一見何もない自然の中での野外キャンプを通して、仲間と協力する事の大切さや何をするにしても知恵を出せるようになってほしいという思いもありました。

自然教室後、お二人に何か変化はありましたか？

正直あまり変わったようには…。あえて言えば、何でも食べるようになったかな。キャンプ中は好き嫌いできないから「とりあえず食べる」ことが仕込まれたみたいですが、ですが、娘たちは「今年も自然教室行くでえ〜!」と言っているのだから何かなのはあったのでしょう。私に似たのか行動派の雰囲気であんまりか、負けてはいられません。

これからの知床との関わりについて新崎さんのイメージがあれば教えてください。

これからの週末を使つて4日間くらい、それぞれの季節に行きたいですね。仕事上なかなか難しい面もありますが、同僚からも「社会貢献は良い事」と休みを取つてボランティアをすることの理解を得られていますので、年3〜4回は知床に行くことを目標にしています。これまで6回ほど活動していますが、数ある作業のおそらくひと握りを経験したくらいなので、もっとたくさんの活動をしていきたいと思っています。

最後に、知床のボランティアに参加してみたいと考えている皆さんへのメッセージをお願いします。

最初は「自分にできるのか」など不安なこともあるかと思いますが、まずは気にせず飛び込んでみてください。スタッフもやさしく丁寧に指導してくれますし、活動する仲間も、時によつては20代から70代まで幅広いこともあります。が、不思議と適材適所に連係プレーが成り立っています。初めて会う方ばかりなのに本当に不思議です。ダイキン社内だけでなく、ここから知床の輪がどんどん広がっていつてほしいですね。



新しくなったホームページ
<http://100m2.shiretoko.or.jp/>

「100平方メートル運動」の
 ホームページをリニューアルしました。

2014年2月、100平方メートル運動のホームページが新しくなりました。日々の活動の報告をリアルタイムに更新していくほか、イベント・ボランティアの参加募集、これまで蓄積してきたモニタリング調査の結果や運動地の

変遷の様子などをお届けしていきます。また、運動への寄付（参加）の申込み手続きも、ホームページから行えるようになりましたので、ぜひご利用ください。

ホームページのリニューアルに合わせて、新キャラクターの「へーべえ君」も登場しています。イメージは、知床の森と川を象徴するシマフクロウ。その名前は、「100平方メートル1100平米」からきています。へーべえ君は、ホームページやこの森通信などの広報媒体のほか、公開コースの看板などの案内係としても登場していきます。ぜひ、知床の森でへーべえ君を探してみてください。

今年、知床は国立公園に指定されてから50年の節目を迎えました。また、来年は世界自然遺産に登録されて10年目となります。これらを記念して、2014年6月から約1年にわたり知床各地では、様々な記念事業を開催します。

1977年に始まった100平方メートル運動は、知床の自然保護の象徴として、国立公園と世界自然遺産の中で大きな役割を果たしてきました。そして、これからも知床の自然を次世代へ引き継ぐために、その歩みを進めていきます。



----- 周年記念事業の詳細はこちら! -----

「知床国立公園 50 周年・
 世界遺産 10 周年記念特設ホームページ」
 (北海道)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/ssi/50th-10th.htm>

「へーべえ君」は、元知床自然教室参加者で、現在は東京でウェブデザイナーとして活動中の元永千香さんにデザインしていただきました。



森づくりの
 ナビゲーター
 へーべえ君

知床コラム



知床に戻ってきた運動当初のポスター

今から40年ほど前、当時の斜里町長（故人・藤谷豊）は、知床開拓跡地を乱開発から守る手立てに頭を悩ませていました。そんな折、上京するたびに訪れていたこの店で東京の仲間たちと語り合う中、知床の自然を守る「100平方メートル運動」を着想したと言われています。それが、「運動発祥の地」と言われるゆえんです。

美経のオーナー様、またこのお店を訪れ運動へのご支援をいただいた多くの皆様、ありがとうございます。これからも100平方メートル運動は、時代がいくら移り変わろうとも、先達の思いや初心を忘れずに歩み続けていきます。

2014年4月、東京銀座にある「美経」という小料理屋さんが、開店から約50年の歴史に幕を下ろしました。「知床」と「銀座」、なかなかつながりが見えませんが、実はこの銀座の小さなお店は、しれと100平方メートル運動と深いつながりがありました。

このお店には、閉店まで30年以上にわたり1枚の100平方メートル運動のポスターが貼られていました。運動開始当初に作成されたものですが、今は町にも現存しておらず、もうこの1枚しか残っていないと言われています。そして、運動の歴史を物語るこのポスターは、オーナーのご配慮により知床へと戻り、今は知床博物館で大切に保管されています。

運動発祥の地「銀座美経」閉店

2013 年度の 事業決算

活動資金の決算を
ご報告します

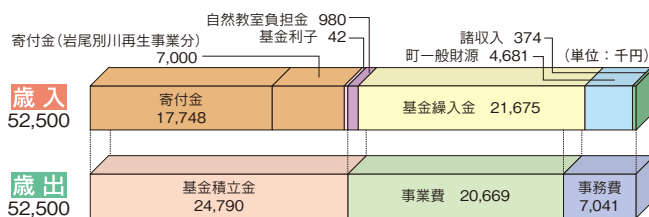
100平方メートル運動の活動資金は、「国立公園内森林保全基金」として斜里町が管理しています。この基金と町の一般財源をもとに、森づくりや交流事業などを実施しています。

2013年度は、森づくり作業のための事業費として、総額2067万円を支出しました。その内訳は、森林再生業務委託費1184万円と、ダイキン業株式会社様からご支援をいただいて実施した岩尾別川再生事業委託費840万円が主なものです。

また、事務費として「しれとこの森通信」の作製費用や受付事務員賃金などの費用に704万円を支出しました。なお、2013年度にいただいた寄付金は、一度運動の

基金に積み立て、2014年度以降の活動資金として活用していきます。

■2013年度決算の内訳



■国立公園内森林保全基金の状況

(単位: 千円) (2014年5月31日現在)

国立公園内森林保全基金			
	2012年以前	2013年	計
歳入	寄付金	798,191	24,748
	利息	69,649	41
	計	867,840	892,629
歳出	事業費	676,249	19,689
	事務費	120,216	1,986
	計	796,465	21,675
残高		71,375	3,114

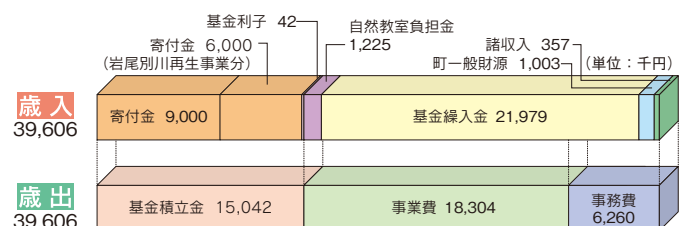
2014 年度の 事業予算

活動資金の予算を
ご報告します

2014年度の総事業費は、3960万円を予定しています。収入は、これまで積み立ててきた運動の基金から2198万円、町の一般財源から100万円を繰り入れるほか、寄付金の目標額として1500万円、その他に162万円を見込んでいます。

支出は、森づくり事業などの現地業務の委託費に1199万円、運動地を流れる岩尾別川の自然再生事業に577万円など1830万円を事業費から支出します。また、事務費として「しれとこの森通信」や運動パンフレットなどの印刷・発送費用に310万円、受付事務員の賃金174万円など626万円を支出予定です。

■2014年度予算の内訳



2014年度の
主な森づくり

苗畑での苗の育成や大型苗の移植、防鹿柵の補修などを進める他、中期的な森づくりの方針を策定していくための現地調査や新しい植生図の作成などにも着手していきます。また、特集でもお伝えしている通り、「森づくりの道」などを通して運動地の公開を進めていきます。その他、4年目となる岩尾別川の再生事業では、河畔林に防鹿柵を1基設置します。



寄付（運動参加） のお礼

2013年度も
たくさんのご寄付を
いただきました

2013年度も全国各地のたくさんの方から総額2470万円（707件）の寄付が寄せられました。

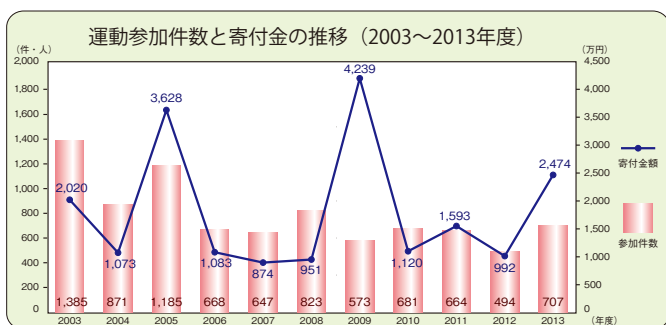
ダイキン工業株式会社様からは、岩尾別川の再生事業に関わる資金として700万円の寄付をいただいています。

毎年賞与の一部をご寄付いただいている友和製作所の皆様からも、継続したご支援をいただきました。有限会社グリーンコップ様には、昨年の樹皮保護ネットの提供に引き続き、ご寄付をいただきました。

また、東京在住の匿名希望の方から、1000万円のご寄付がありました。寄付の申込書に添えられた手紙には、「100平方メートル運動のキャッチフレーズの通り、私は知床に夢を買ってきました、いえ夢を与えてもらってきたのです。そして、

今も皆様のご努力のおかげで夢を共有させていただいています。」と書かれておりました。身が引き締まる思いとともに、知床の夢の実現に向けて気持ちを新たにしたいところです。

その他にも、お子様の誕生日や還暦のお祝いなどにメッセージを添えてご寄付をくださった方など、様々な形で知床の森づくりにご支援をいただいています。ここに改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



運動参加（寄付）のお願い

「100 平方メートル運動の森・トラスト」は、運動参加者の皆さまからの毎年の寄付金によって支えられています。引き続き、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

寄付金

一口：5,000円

寄付の方法

【郵便払込】

1. 申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスで斜里町役場へ送信してください。
2. 申込書付属の払込取扱票もしくは下記口座まで寄付金をお送りください。

口座番号：02740-8-10555

加入者名：斜里町役場

※郵便局以外の金融機関からお振込みを希望される場合は、お問合せください。

【現金書留】

申込書を同封の上、現金書留を斜里町役場にお送りください。

控除制度について

運動への寄付金は、所得税および住民税の控除制度（ふるさと納税）の対象となります。

- ・ 所得税は、課税対象額から寄付控除を受けることができます。
- ・ 住民税は課税額から寄付控除を受けることができます。
- ・ 控除の対象となるのは、2,000円を超えるご寄付です。

【お問合せ】

〒099-4192
北海道斜里郡斜里町本町12番地
斜里町役場 自然環境係

TEL：0152-23-3131（内線100）
FAX：0152-23-4150
MAIL：100m2@town.shari.hokkaido.jp

※「しれとこの森通信」のバックナンバーはこちらから。
「100平方メートル運動の森・トラスト」ホームページ
<http://100m2.shiretoko.or.jp/>

募金証書を入れる特製の額縁もあります。
ミズナラフレーム
3,500円(税込、送料別)



新ホームページに「お申し込みフォーム」ができました！



※寄付のお申し込みのみです。入金の際は郵便払込、もしくは現金書留をご利用ください。



2014年度の 知床の森づくりカレンダー

5月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

*16-19日：第6回ダイキン知床ボランティア

*23-27日：第12回知床森づくりの日・春

※5月の活動は全て終了しました。

6月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

*1日：知床国立公園 50周年・世界遺産 10周年キックオフイベント「100平方メートル運動地公開ツアー」

*3日：開成高校修学旅行 森づくり体験

*18-19日：東京都立南多摩中学校 研修旅行 森づくり体験

7月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

*上旬：運動地公開コース「しれとこ森づくりの道・ホロボツコース」オープン

*19日：日本赤十字北海道看護大学 実習 森づくり体験

*7/30-8/5：第35回知床自然教室

8月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

*22-26日：第13回知床森づくりの日・夏

9月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

*26-29日：第7回ダイキン知床ボランティア

10月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

*1日：斜里高校課外授業「知床自然概論」

*10-14日：第14回知床森づくりの日・秋

*19日：第18回しれとこ森の集い

11月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

*10/30-11/4：第18回森づくりワークキャンプ

*中旬：

・森林再生専門委員会による現地視察

・2014年度 森林再生専門委員会議

12月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

*下旬：冬期運動地公開「スノーシュー・歩くスキーコース」オープン（～3月中旬）

1月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

*下旬：冬期運動地公開「スノーシュー・歩くスキーコース」オープン（～3月中旬）

2月

日

月

火

水

木

金

土

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

参加者募集イベント

ボランティア募集日

森づくり体験&授業

イベント参加者募集中！

知床の森づくりにはあなたの力が必要です！皆さまのご参加お待ちしております



第35回 知床自然教室

- 日 程：7月30日(水)～8月5日(火) 6泊7日
- 対 象：小学校4年生～高校3年生
- 定 員：40名(先着順)
- 参加費：35,000円
(別途、現地までの交通費)
- 申 込：7月4日(金)まで



全国から集まる仲間とともに
知床の森で暮らす一週間！

知床森づくりの日

- 日 程：夏 8月22日(金)～26日(火) 4泊5日
秋 10月10日(金)～14日(火) 4泊5日
- 定 員：12名(18歳以上)
- 参加費：16,000円(宿泊・食費込)
- 申 込：各開催日の2週間前まで



知床の森で4泊5日の森づくりを体験しませんか！

第18回 しれとこ森の集い(植樹祭)

- 日 程：10月19日(日)
- 参加費：無料
- ※こちらの参加申込みは斜里町役場まで
【斜里町役場自然環境係】
TEL：0152-23-3131
FAX：0152-23-4150



運動地の散策や植樹祭など、
秋の知床を満喫する1日です。

第18回 森づくりワークキャンプ

- 日 程：10月30日(木)～11月4日(火) 5泊6日
- 対 象：18歳以上
- 定 員：15名(先着順)
- 参加費：18,000円(宿泊・食費込)
- 申 込：10月14日(火)まで



森の番人指導のもと
本格的な森づくりに打ち込む6日間！

イベント・ボランティアの参加申込み・お問い合わせはこちらまで。

「公益財団法人知床財団 自然復元係」

TEL：0152-24-2114 MAIL：info@shiretoko.or.jp

詳しくは 100 平方メートル運動 HP で

知床 運動 ▶ で検索！